

松山市こども計画に関する アンケート調査について

令和8年8月10日

こども
まんなか

(1)調査目的

「松山市こども計画」で設定している成果指標(KPI)の各年度の状況を確認するとともに、市のこども施策や市に対する市民の声を聴き取り施策反映につなげる。

(2)令和7年度実施状況

項目	内容			
実施期間	令和7年9月22日(月)～令和7年10月17日(金)			
対象者	小学5年生以上の市内在住者(市内の学校等に通学する学生を含む)			
実施方式	LoGoフォームを活用したインターネット回答(無記名式)			
アンケート内容	・松山市こども計画で設定している成果指標の項目 ・こどもの権利に関する項目 ・市のこども施策、市への要望等			
回答数	6,775件 (内訳)			※参考 R7.4.1人口
		小学生(10、11歳)	3,011件	8,757人
		中学生(12～14歳)	1,945件	13,682人
		15～17歳	391件	13,912人
		18歳～39歳	645件	106,347人
		40歳以上	783件	316,197人
調査結果の活用	アンケート結果は市HP、「にこっと」などで公表し、「松山市こども計画」の点検・評価、市のこども施策等に反映			

(3)令和8年度調査概要

項目	内容
実施期間	令和8年9月～10月頃(調査期間は3週間程度を予定)
対象者	小学5年生以上の市内在住者(市内の学校等に通学する学生を含む)
実施方式	LoGoフォームを活用したインターネット回答(無記名式)
アンケート内容	・基本情報(年齢等) ・松山市こども計画で設定している成果指標の項目 ・こどもの権利に関する項目 ・市のこども施策、市への要望等 ※詳細は、P4～10参照
周知方法	広報誌、市公式LINE、まつやま こども・子育てサイト「にこっと」、教育・保育施設、小中学校、児童館・児童クラブ等への依頼、各種学校への依頼 等
調査結果の活用	アンケート結果は市HP、「にこっと」などで公表し、「松山市こども計画」の点検・評価、市のこども施策等に反映

※成果指標に関する設問は、毎年度の進捗管理を行うため、前年度と同じ内容を想定。
※小学生向けには、各設問にはフリガナを記載。

「松山市こども計画」で設定する成果指標

基本方針	成果指標		前回調査時 (令和7年度)	目標 (令和11年度)
(1)こどもの権利を尊重し、 社会全体でこども・若者を 育てる	自分が幸せだと思う こども・若者の割合	小中学生	93.9%	95.0%
		15～39歳	92.3%	95.0%
(2)こども・若者の健やかな 育ちを支える	自宅以外に 安心して過ごせる 自分の居場所がある こどもの割合	小中学生	82.8%	90.0%
		15～17歳	71.9%	75.0%
(3)こども・若者を誰一人 取り残さず重層的に支援する	困ったときに相談したり、 悩みを話せる人が いる割合	小中学生	80.4%	90.0%
		15～39歳	85.4%	90.0%
(4)若者が自ら希望する ライフプランの実現を 後押しする	自分の将来に 明るい希望を 持っている若者の割合	小中学生	84.1%	85.0%
		15～39歳	78.4%	75.0%
(5)安心して子育てできるよう 子育て当事者を支援する	こども家庭センターの認知度		52.3%	75.0%
	合計特殊出生率		1.13 (令和6年)	1.41 (令和9年度)

設問内容	回答欄/選択肢	対象		
		小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上
◆共通事項項目				
(1) 2026年4月1日時点での年齢を教えてください。	【 】歳	●	●	●
(2) あなたの性別を教えてください	1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない	●	●	●
(3) あなたは学生(※)ですか。 ※小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学など	1. はい 2. いいえ	●	●	●
(4) あなたが在学している学校を選んでください。	※(3)ではいと答えた場合 1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 専門学校 5. 特別支援学校 6. 大学・短期大学 7. 大学院 8. フリースクール 9. その他	●	●	●
(5) お子さんはいますか	1. いる(未就学児、小学生、中学生) 2. いない	—	—	●

設問内容	回答欄/選択肢	対象		
		小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上
◆こどもの権利関係				
以下の、こどもの権利について知っていますか。				
(6) すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること	1. 詳しく知っている 2. 知っている 3. 聞いたことがある 4. 知らない	●	●	●
(7) こどもに関することが決められ、行われるときは「そのこどもにとって最もよいことはなにか」を第一に考えること	1. 詳しく知っている 2. 知っている 3. 聞いたことがある 4. 知らない	●	●	●
(8) こどもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮すること	1. 詳しく知っている 2. 知っている 3. 聞いたことがある 4. 知らない	●	●	●
(9) すべてのこどもは、こども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されないこと	1. 詳しく知っている 2. 知っている 3. 聞いたことがある 4. 知らない	●	●	●

設問内容	回答欄/選択肢	対象		
		小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上

◆成果指標関係

(10) あなたは今、幸せだと思いますか。	1. とても幸せ 2. どちらかといえば幸せ 3. どちらかといえば不幸 4. とても不幸	●	●	●
(11) あなた自身について、当てはまるものをすべて選んでください。	1. 自分のことが好きだ 2. 体は健康な状態だ 3. 心は健康な状態だ 4. 休んだり好きなことをする時間のゆとりがある 5. 学びたいことを学べる機会がある 6. 新しいことに挑戦することができる 7. 自分が住んでいるまちが好きだ 8. やりたい仕事ができている(見つけられる) 9. あてはまるものはない	●	●	●

設問内容		回答欄/選択肢	対象		
			小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上
◆成果指標関係					
(12)	あなたにとって、安心して過ごせる自分の「居場所」はどこですか。あてはまるものをすべて選んでください。	1. 自分の部屋 2. 家の中(自分の部屋以外) 3. 祖父母等の親戚の家 4. 友だちの家 5. 学校(教室・図書室など)※卒業した学校を含む 6. 児童クラブや放課後等デイサービス 7. クラブ(部)活動・サークル活動の場所 8. 塾や習いごとの場所 9. 児童館 10.こども食堂 11.図書館・公民館・公園 12. お店(ゲームセンター・カラオケボックス・ネットカフェ・ファストフード店・ファミレス・コンビニなど) 13. 趣味や自分が学びたいことをできる場所 14. インターネット空間(SNS・動画サイト・オンラインゲームなど) 15. その他() 16. 居場所はない	●	●	—
(13)	安心して過ごせる「居場所」として、どのような居場所があれば良いと思いますか。	(自由記載)	●	●	●

設問内容	回答欄/選択肢	対象		
		小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上
◆成果指標関係				
(14) 困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。	1. いる 2. いない 3. 相談したくない	●	●	●
(15) 困ったこと(ものごとがうまくいかず、落ち込んだ時など)が解決できたのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。	1.友達の助け 2.家族や親せきの助け 3.自分の努力で乗り越えた 4.時間がたって状況が変化した 5.学校の先生に相談した 6.趣味の活動に参加 7.同じようにうまくいかなかった経験をした人に相談 8.SNSやメール相談などを利用 9.まわりの環境が変わった 10.スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談 11.相談できる場所に行って相談 12.地域の人々の助け 13.病院に行って相談 14.電話相談を利用 15.わからない、答えられない 16.解決できていない 17.その他()	●	●	●

設問内容	回答欄/選択肢	対象		
		小・中 学生	15～ 17歳	18歳 以上

◆成果指標関係

(16)	あなた自身について、自分の将来に希望を持っていますか。	1. 持っている 2. どちらかというを持っている 3. どちらかというを持っていない 4. 持っていない	●	●	●
(17)	松山市にある、すべての妊産婦、こども、子育て家庭を支援する「こども家庭センター」を知っていますか。	1. 知っている 2. 知らない	—	●	●
(18)	こども相談やすくすく・サポートなど、子育てについて困ったことや心配なことなどがあった時の相談先を知っていますか。	1. 知っている 2. 知らない	—	—	●

アンケート項目(案)

設問内容		回答欄/選択肢	対象		
			小・中学生	15～17歳	18歳以上
◆こども施策関係					
(19)	運動やスポーツをすることが好きですか。	1. 好き 2. やや好き 3. やや嫌い 4. 嫌い	●	●	
(20)	スポーツを観る、または応援することは好きですか。	1. 好き 2. やや好き 3. やや嫌い 4. 嫌い	●	●	
(21)	運動やスポーツをもっと楽しんだり、好きになったりするためには、どのような環境であればいいと思いますか。	(自由記載)	●	●	
(22)	参加したいと思う体験活動やイベント(無料)は？ (2つまで)	(青少年センター活用を想定のため、35歳未満を対象) ①自然の中での体験活動、②英語が楽しく学べる活動、③ネット・SNS活用法の学習、④職業体験イベント、⑤選挙や税制度の学習、⑥その他(自由記載)	●	●	△
設問内容		回答欄/選択肢	対象		
			小・中学生	15～17歳	18歳以上
◆自由記載					
(23)	最後に、松山市のこども施策について、市にしてほしいことなどがあれば、自由に回答してください。	(自由記載)	●	●	●